はじめに

近年、英語教育の見直しが叫ばれ、英語の 4 技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）をバランスよく伸ばすことが求められています。この流れを受けて、4 技能判定を備えた試験を受験し、基準以上のスコアを報告すれば、英語の試験は免除するという大学が増えつつあります。

上智大学と日本英語検定協会が共同で開発した TEAP（Test of English for Academic Purposes）もその 1 つです。TEAP は大学教育レベルにふさわしい英語力を判定する試験として 2014 年に導入されましたが、採用大学も受験者も毎年確実に増えています。

本書『はじめての TEAP　対策問題集』は、この 4 技能型アカデミック英語能力判定試験をあらゆる角度から分析し、著者と編集者で実際に試験も受けた上で、その特徴と傾向を割り出し、効果的な対策をアドバイスするとともに、本番さながらの模擬テストを 2 セット用意いたしました。

TEAP はとてもよくできた試験で、リーディング・テストとリスニング・テストには、ほかの科目（理科や数学や社会など）の授業で見るような資料や図表や文献や、外国の大学で経験すると思われること（講義や各種手続きなど）が題材に盛り込まれています。ライティング・テストでは、英文をしっかり読んだ上で決められた語数で内容を要約し、違う表現を使って書く能力が求められます。そして 4 技能試験の象徴とも言えるスピーキング・テストでは、日常会話（尋ねられたことに的確に答える、相手に質問する）に加えて、あるテーマに対して自分の考えをまとめて話す能力が問われます。

こうした実によく練られた問題を作成するのは非常にむずかしいことでしたが、受験生のみなさんに本番前に繰り返し使っていただけるものをお届けしたく、著者と編集者で 1 年以上時間をかけて、何度もやり取りを重ねた末、ここに収録した 2 セットの模擬テストを作り上げることができました。

またライティングとスピーキング対策は特に重要と考えて、追加問題をもう 1 セットずつ用意いたしました。そして 2016 年から導入された TEAP CBT についても分析・研究し、その傾向を詳しく紹介しました。

読者のみなさんが TEAP に向けて本書で効果的に学習し、志望校合格を手にされますことを、関係者一同、心より願っております。

2016 年 10 月

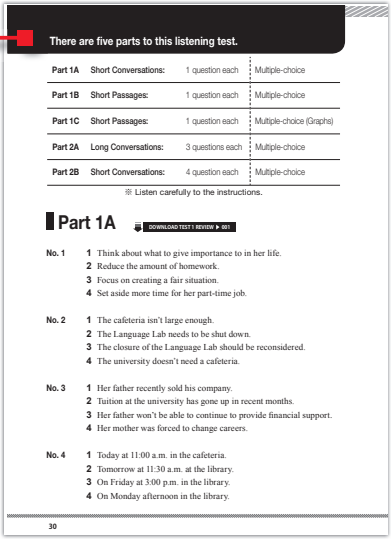
デイビッド・セイン（David A. Thayne）
斎藤 裕紀恵（Yukie Saito）

本書の使い方

① 本番さながらの問題を 2 セット

TEAP をあらゆる角度から分析し、著者と編集者で実際に試験も受けた上で、その特徴と傾向を割り出し、本番さながらの問題を 2 セット用意しました。問題は別冊に収録してあります。

ライティングとスピーキングの追加テストの問題と、模範解答・解説・訳も、別冊の巻末（103 ページ）に収録しました。



There are five parts to this listening test.

Part 1A	Short Conversations:	1 question each	Multiple-choice
Part 1B	Short Passages:	1 question each	Multiple-choice
Part 1C	Short Passages:	1 question each	Multiple-choice (Graphs)
Part 2A	Long Conversations:	3 questions each	Multiple-choice
Part 2B	Short Conversations:	4 question each	Multiple-choice

※ Listen carefully to the instructions.

Part 1A DOWNLOAD TEST 1 REVIEW ▶ 001

No. 1
1 Think about what to give importance to in her life.
2 Reduce the amount of homework.
3 Focus on creating a fair situation.
4 Set aside more time for her part-time job.

No. 2
1 The cafeteria isn't large enough.
2 The Language Lab needs to be shut down.
3 The closure of the Language Lab should be reconsidered.
4 The university doesn't need a cafeteria.

No. 3
1 Her father recently sold his company.
2 Tuition at the university has gone up in recent months.
3 Her father won't be able to continue to provide financial support.
4 Her mother was forced to change careers.

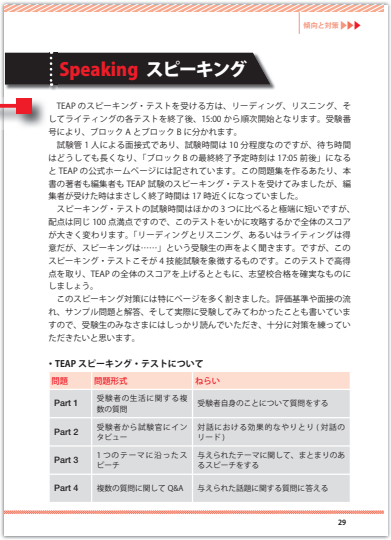
No. 4
1 Today at 11:00 a.m. in the cafeteria.
2 Tomorrow at 11:30 a.m. at the library.
3 On Friday at 3:00 p.m. in the library.
4 On Monday afternoon in the library.

30

② TEAP の傾向と効果的な対策をアドバイス

リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング、それぞれのセクションの対策と学習法を詳しくアドバイスしました。特にスピーキング対策にはページを多く割いています。

また、TEAP CBT に関しては、37 ページでその傾向を分析・研究し、対策を練っています。



傾向と対策 ▶▶▶

Speaking スピーキング

TEAP のスピーキング・テストを受ける方は、リーディング、リスニング、そしてライティングの各テストを終了後、15:00 から順次開始となります。受験番号により、ブロック A とブロック B に分かれます。

試験官 1 人による面接式であり、試験時間は 10 分程度なのですが、待ち時間はどうしても長くなり、「ブロック B の最終終了予定時刻は 17:05 前後」になると TEAP の公式ホームページには記されています。この問題集を作るあたり、本書の著者も編集者も TEAP 試験のスピーキング・テストを受けてみましたが、編集者が受けた時はまさしく終了時間は 17 時近くになっていました。

スピーキング・テストの試験時間はほかの 3 つに比べると極端に短いですが、配点は同じ 100 点満点ですので、このテストをいかに攻略するかで全体のスコアが大きく変わります。「リーディングとリスニング、あるいはライティングは得意だが、スピーキングは……」という受験生の声をよく聞きます。ですが、このスピーキング・テストこそが 4 技能試験を象徴するものです。このテストで高得点を取り、TEAP の全体のスコアを上げるとともに、志望校合格を確実なものにしましょう。

このスピーキング対策には特にページを多く割きました。評価基準や面接の流れ、サンプル問題と解答、そして実際に受験してみてわかったことも書いていますので、受験生のみなさまにはしっかり読んでいただき、十分に対策を練っていただきたいと思います。

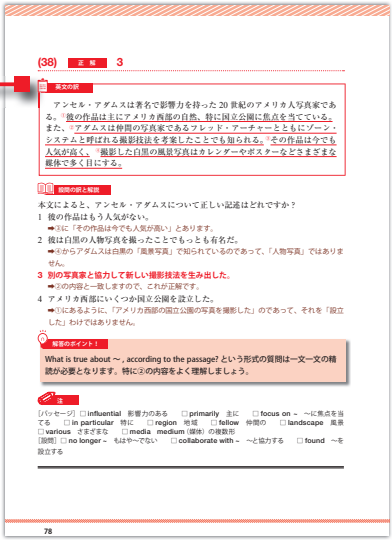
・TEAP スピーキング・テストについて

問題	問題形式	ねらい
Part 1	受験者の生活に関する複数の質問	受験者自身のことについて質問をする
Part 2	受験者から試験官にインタビュー	対話における効果的なやりとり (対話のリード)
Part 3	1 つのテーマに沿ったスピーチ	与えられたテーマに関して、まとまりのあるスピーチをする
Part 4	複数の質問に関して Q&A	与えられた話題に関する質問に答える

29

③ 高得点を取るために必要なポイントを解説

TEAP は実によくできた試験で、理科や数学や社会などの授業で見るような資料や図表や文献や、海外の大学の講義や事務所の手続きなどで経験すると思われることが題材に盛り込まれています。各問題にどんな点に注目して答えればいいか、信頼できる著者がわかりやすく解説します。



(38) 正解 3

英文の訳

アンセル・アダムスは著名で影響力を持った 20 世紀のアメリカ人写真家である。[1]彼の作品は主にアメリカ西部の自然、特に国立公園に焦点を当てている。また、[2]アダムスは仲間の写真家であるフレッド・アーチャーとともにゾーン・システムと呼ばれる撮影技法を考案したことでも知られる。[3]その作品は今でも人気が高く、[4]撮影した白黒の風景写真はカレンダーやポスターなどさまざまな媒体で多く目にする。

問題 問題の訳と解説

本文によると、アンセル・アダムスについて正しい記述はどれですか？

1 彼の作品はもう人気がない。
➡③に「その作品は今でも人気が高い」とあります。

2 彼は白黒の人物写真を撮ったことでもっとも有名だ。
➡④からアダムスは白黒の「風景写真」で知られているのであって、「人物写真」ではありません。

3 別の写真家と協力して新しい撮影技法を生み出した。
➡②の内容と一致しますので、これが正解です。

4 アメリカ西部にいくつか国立公園を設立した。
➡①にあるように、「アメリカ西部の国立公園の写真を撮影した」のであって、それを「設立した」わけではありません。

重要のポイント！

What is true about ～, according to the passage? という形式の質問は一文一文の精読が必要となります。特に②の内容をよく理解しましょう。

注

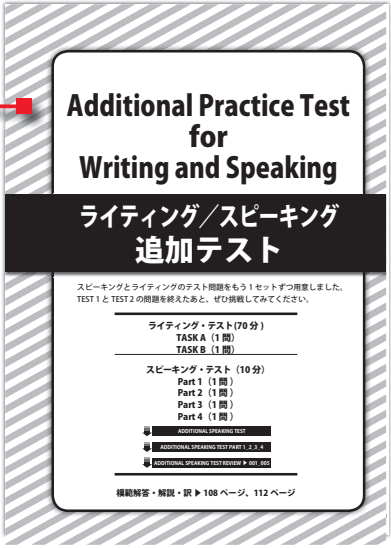
[パッセージ] □ influential 影響力のある □ primarily 主に □ focus on ～ ～に焦点を当てる □ in particular 特に □ region 地域 □ fellow 仲間の □ landscape 風景 □ various さまざまな □ media medium（媒体）の複数形

[設問] □ no longer ～ もはや～でない □ collaborate with ～ ～と協力する □ found ～を設立する

78

④ ライティングとスピーキングは追加問題も収録

TEAP では、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング、すべて 100 点満点です。ライティングとスピーキング対策に悩む学生も少なくないと思い、本書ではこの 2 技能の試験をもう 1 セットずつ用意しました（別冊の巻末［103 ページ］に収録）。



Additional Practice Test for Writing and Speaking

ライティング／スピーキング 追加テスト

スピーキングとライティングのテスト問題をもう 1 セットずつ用意しました。TEST 1 と TEST 2 の問題を終えたあと、ぜひ挑戦してみてください。

ライティング・テスト（70 分）
TASK A（1 問）
TASK B（1 問）

スピーキング・テスト（10 分）
Part 1（1 問）
Part 2（1 問）
Part 3（1 問）
Part 4（1 問）

ADDITIONAL SPEAKING TEST

ADDITIONAL SPEAKING TEST PART 1, 2, 3, 4

ADDITIONAL SPEAKING TEST REVIEW ▶ 001_002

模範解答・解説・訳 ▶ 108 ページ、112 ページ

⑤ リスニングとスピーキングの音声は 3 種類

リスニングとスピーキングの音声は、TEST 1, 2, そしてスピーキングの追加問題とも、①「本番対策用として、解答時間を含めて、試験を最初から最後まで通したもの」、②「Part ごとにまとめたもの」、③「復習用として問題ごとにトラック分けしたもの」の 3 種類を用意しました。すべて研究社のホームページから無料ダウンロードできます（詳しくは 2 ページをご覧ください）。

Contents　目 次

はじめに　3
本書の使い方　4

TEAP リーディング／リスニング／ライティング／スピーキング
傾向と対策　7

TEAP CBT について　37

TEST 1 リーディング・テスト／リスニング・テスト正解一覧　42
TEST 1 解答・解説・訳／模範解答・解説・訳　43
　リーディング　44
　リスニング　90
　ライティング　146
　スピーキング　154

TEST 2 リーディング・テスト／リスニング・テスト正解一覧　162
TEST 2 解答・解説・訳／模範解答・解説・訳　163
　リーディング　164
　リスニング　212
　ライティング　265
　スピーキング　273

あとがき　281

TEAP

リーディング／リスニング／ライティング／スピーキング

傾向と対策

TEAP（Test of English for Academic Purposes）は、大学で学習や研究をする際に必要とされる英語の運用力を測定するテストとして、上智大学と日本英語検定協会によって開発されました。

総合的な英語力を正確に判定するために、受験生は「読む」「聞く」「書く」「話す」の４技能の試験を受けます。この試験で出題される問題は、大学のアカデミックな場面（英語の講義を聞く、英語の資料や文献を読む、英語で発表する、英語でレポートを書くなど）を想定したものとなっています。

ここでは、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの各セクションの傾向と対策を考えてみましょう。

Reading リーディング

TEAP はリーディング・テストで始まります。語彙・語法問題をはじめとして、図表や掲示・E メール、そして文系・理系の資料や文献など、幅広い題材が出題されます。

Part 1 は語彙・語法問題で、Part 2 では 70 ～ 90 語ぐらいの短い英文を、Part 3 では 300 ～ 600 語ぐらいの長文を読んで各設問に答えます。センター試験や英検の準 1 級のリーディング問題よりも歯ごたえがあります。

高得点を取るには、各パートの傾向を把握して、対策を立てる必要があります。

100 点満点
試験時間：70 分
問題数：　60 問
解答方式：マークシートによる択一選択方式

Part 1

問題数：　20 問
問題形式：20 ～ 30 語の英文の穴埋め問題。
出題内容：大学での授業や資料・文献などを理解する上で必要とされる語彙・語法が問われる。

Part 1 の対策

各問題の 4 つの選択肢はどれも同じ品詞（名詞、形容詞、副詞、動詞、句動詞、接続詞など）です。文意や空所の前後の語句を手掛かりに、適切な語や表現を選択肢から選びます。最後の 2 ～ 4 問は、通常、句動詞を選ぶ問題が出題されます。

英文の内容としては大学生活に関するものが圧倒的に多いですが、社会や化学、技術などに関するものも出題されます。

語彙レベルはそれほど高くありませんので、英検 2 級や準 1 級の単語集などを使って勉強するといいでしょう。

Part 2A

問題数：　5 問
問題形式：図表の読み取り問題。各問題で図表が 1 つ提示される。
出題内容：大学での授業や資料・文献などにおける視覚情報の理解力と、それに基づく類推力が問われる。

Part 2A の対策

図表は折れ線グラフや棒グラフがほとんどですが、表も出題されることがあります。図表を読む際にはまずタイトルを見て、そのあと図表がどのような内容を示しているのかを確認します。棒グラフ、折れ線グラフでは縦軸、横軸がそれぞれ何を表わすか、円グラフではパイの構成要素をすばやく認識しましょう。

Part 2B

問題数：　5 問
問題形式：掲示・E メール（約 70 語）などの読解問題。
出題内容：大学キャンパス内の掲示や、大学生活の中で交わされる E メールの理解力が問われる。

Part 2B の対策

まずは各設問を読んで、質問の内容を頭に入れます。そのあとで、英文に目を通し、解答に必要な情報を探しましょう。

内容としては学生への各種の連絡（イベント開催の案内、授業の登録・履修方法、図書館の利用方法、ボランティアやアルバイトの募集など）がほとんどですので、大学生活に関わる語彙も増やしておきましょう。以下にほんの一例ですが、紹介します。

名詞：□ major　専攻　academic advisor　アカデミック・アドバイザー（勉強面でアドバイスをしてくれる先生）　□ department　学部　□ registrar's office　教務課　□ survey　調査　□ academic writing　アカデミック・ライティング　□ tutor　講師、個別指導教官　□ assignment　宿題、課題　□ application form　申込用紙、願書　□ semester　学期　□ undergraduate student　学部学生　□ postgraduate student　大学院生
動詞：□ register　～を登録する　□ enroll　～を名簿に登録する、会員にする、入学させる　□ edit　～を編集する　□ proofread　～を校正する　□ apply for　～に申し込む、出願する

〈中 略〉

Listening リスニング

リーディング・テストが終わるとすぐにリスニング・テストが始まります。各問題につき 1 回しか聞けませんので、集中力を維持したまま、リスニング・テストに臨みましょう。

問題は短い会話やアナウンスなどの聞き取りを行なう Part 1 と、長い会話や英文の聞き取りを行なう Part 2 に分かれています。

大学のキャンパス内での会話や、大学の授業に関するものが多く出題されますので、大学生活に関わる語彙を普段から増やすことを心がけましょう。

また、問題に関する指示文および指示音声は、すべて英語です。ただし、指示文はすべて同じですので、問題形式と英語の指示文にあらかじめ慣れておきましょう。

実際に試験を受けてみて、リスニングはリーディングよりもむずかしいと感じます。TOEIC のリスニングよりも難易度が高いかもしれません。本書の問題を何度も解いて、テスト本番に備えましょう。

100 点満点
試験時間：50 分
問題数：　50 問
解答方式：マークシートによる択一選択方式

Part 1A

問題数：　10 問
解答時間：各設問 10 秒
出題内容：大学生活に関連する短い会話を聞き、質問文（問題冊子には印刷されていない）が流されたあと、4 つの選択肢（こちらは印刷されている）の中から適切なものを選ぶ。

Part 1A の対策

Part 1A は 2 人の会話を聞いて答える問題です。誰と誰が、何について話して

いるのか注意して聞きましょう。会話のトピックは講義、テスト、成績、レポートやプロジェクトなどの課題、授業についてのアドバイス、専攻、インターンシップ、アルバイト、就職などの大学生活に関わるものです。そのようなトピックで使われる単語や表現に慣れておきましょう。また会話の始まりでトピックに関して言及されていることが多いですので、第 1 話者の最初の発言は特に注意して聞きましょう。

会話を聞いたあとに質問文が流れますが、what で始まる質問が圧倒的に多いですので、何について話しているのか、特に注意して聞きましょう。また who, why, how などで始まる疑問文も出題されることがありますので、質問文をしっかり聞き取ることが重要です。TEAP のリスニングでは問題冊子への書き込みが許されていますので、重要と思われる単語はメモを取りましょう。

Part 1B

問題数： 10 問
解答時間： 各設問 10 秒
出題内容： 大学の講義（ミニ・レクチャー）や報道情報などの短い英文を聞き、質問文（問題冊子には印刷されていない）が流されたあと、4 つの選択肢（こちらは印刷されている）の中から適切なものを選ぶ。

Part 1B の対策

Part 1B では、1 人の話者による大学の講義（歴史、科学、化学、文学、技術、経済など）、大学内のアナウンス、講座に関する説明などを聞いて、質問に答えます。アカデミックな内容が多く、Part 1A よりも語彙レベルが高くなっていますので、関連分野の単語や背景知識を日ごろから増やすように心がけましょう。音声を聞きながら問題冊子に書き込んだり、メモを取ることが可能ですので、重要と思われる語句や表現は書き留めておくといいでしょう。

what で始まる質問文が多いですが、who, why, how などの場合もありますので、注意して聞きましょう。また、よくある質問文として What does speaker imply about ~? があります。imply（示唆する）という単語が示すように、話の中では明示されていないことを聞かれていますので、注意が必要です。

Part 1 と同様に、英文も質問文も 1 度しか聞けませんので、集中して聞き取りましょう。

〈中 略〉

Writing ライティング

ライティング・テストはTask A（要約問題）とTask B（エッセイ問題：グラフ（図表）や記事を説明し、意見を述べる）の2問が出題されます。

ライティング・テストは、リーディング・テストとリスニング・テストを終えたあと、約1時間半の休みを挟んで、13:30から始まります（各テストの開始時間は、会場の状況により変更される場合もありますので、ご注意ください）。

リーディング、リスニングのようにマークシートによる客観テストではなく、完全記述式の試験ですので、入念な準備が必要です。

以下、実際に試験を受けてみて感じたことを交えつつ、ライティング・テストの傾向を確認し、その対策を考えましょう。

Task A

【問題の内容】問題文の要約
【字数】70字程度、1段落（＝改行なしで続けて書く）
【トピック】賛否両論があるような事柄。現代に生まれた新たなテクノロジーや慣習であることが多い。たとえば「電子書籍」や「在宅勤務」など。

攻　略

▶ 解答の方針

「各段落の要点を抽出し、それをつなげ合わせる」のが要約の鉄則。

▶ 時間配分

20分程度
- 問題文を読む（3～4分）
- メモ・下書きを作る（7～9分）
- 解答を書く（6～7分）

STEP 1　問題文を読む

・問題文の構成

問題文は、第 1 段落が**「トピック（話題）の導入」**、第 2 段落が**「トピックについての賛成意見」**、第 3 段落が**「トピックについての反対意見」**という構成になっていることが多いので、それを意識して読み進めます（第 2・3 段落は逆の構成の場合もあります）。

1. トピックの導入

2. トピックについての賛成意見

⇅ 逆の場合もある

3. トピックについての反対意見

Happiness is believed to be one of life's main goals. To some people, happiness is marriage and family, and to others it's a cup of coffee after a meal. Recently, some companies have created a role for dealing with happiness. The role of the Chief Happiness Officer, or CHO, is to raise the employees' happiness, and the idea is spreading, particularly among IT companies.

Edward Wright was one of the first to introduce a CHO to his company. He says that profits have risen by approximately 30% because of it. Employees who feel happy can work with passion. If you create more enthusiastic employees, profits will also rise. Charles Young, a worker in the IT industry, was able to recover after a difficult time thanks to advice from the CHO. He stated that if the CHO hadn't been there, that period would probably have negatively affected his work. CHOs are useful for preventing employees from becoming depressed or developing mental illnesses.

Of course, there are people who don't support the introduction of CHOs. CHOs send out regular surveys and ask people questions, so that they can know every employee's situation. Some people feel the CHO's activities are a privacy violation. There are also people who don't want to talk about their personal life at work, or think that happiness varies from person to person and that companies shouldn't try to manage it in a standardized way. People have different preferences, so some may be forced into things they dislike after the introduction of a CHO.

There are pros and cons to the new role of CHO. Every company should listen to its employees' opinions when it considers introducing the new role.

・各段落の重要ポイントには線を引いておく

各段落の要点と思われる文には、線を引いてチェックしておきましょう。たとえば、「トピックについての賛成意見」の段落では、賛成の根拠を述べている箇所に線を引きます。

STEP 2　解答の作成

・文の数

英文は 1 文あたり 15 ～ 20 語となることが多いと思われます。よって、70 語程度の英作文では、**4 ～ 5 文くらいを目安**にするとよいでしょう。

・文の構成

基本的に、各段落の要点をつなげることを意識して構成します。

〈中 略〉

Speaking スピーキング

TEAP のスピーキング・テストの受験者は、リーディング、リスニング、そしてライティングの各テストを終了後、15:00 から順次開始となります。受験番号により、ブロック A とブロック B に分かれます。

試験官（面接官）1 人による面接形式であり、試験時間は 10 分程度なのですが、待ち時間はどうしても長くなり、「ブロック B の最終終了予定時刻は 17:05 前後」になると TEAP の公式ホームページには記されています。この問題集を作るにあたって、本書の著者も編集者も TEAP 試験のスピーキング・テストを受けてみましたが、編集者が受けた時はまさしく終了時間は 17 時近くになっていました。

スピーキング・テストの試験時間はほかの 3 つに比べると極端に短いですが、配点は同じ 100 点満点ですので、このテストをいかに攻略するかで全体のスコアが大きく変わります。「リーディングとリスニング、あるいはライティングは得意だが、スピーキングは……」という受験生の声をよく聞きます。ですが、このスピーキング・テストこそが 4 技能試験を象徴するものです。このテストで高得点を取り、TEAP の全体のスコアを上げるとともに、志望校合格を確実なものにしましょう。

このスピーキング対策には特にページを多く割きました。評価基準や面接の流れ、サンプル問題と解答、そして実際に受験してみてわかったことも書いていますので、受験生のみなさんにはしっかり読んでいただき、十分に対策を練っていただきたいと思います。

• TEAP スピーキング・テストについて

問題	問題形式	ねらい
Part 1	受験者の生活に関する複数の質問	受験者自身のことについて質問に答える
Part 2	受験者から試験官にインタビュー	対話における効果的なやりとり (対話のリード)
Part 3	1 つのテーマに沿ったスピーチ	与えられたテーマに関して、まとまりのあるスピーチをする
Part 4	複数の話題に関して Q&A	与えられた話題に関する質問に答える

下記の評価項目を確認して、スピーキング・テスト練習の際には常にこうした評価項目を意識して練習しましょう。各項目右側のチェック欄にチェックしながら自己評価、分析して次のレベルにいけるように努力しましょう。

評価項目	CEFR レベル	評価基準	☑ マーク
発音	B2	・発話がわかりやすい ・ストレスとイントネーションが正確である ・個々の発音に第１言語（日本語など）の影響が若干ある。	
	B1	・発話が理解可能である ・ストレス、イントネーション、個々の発音に第１言語（日本語など）の影響を顕著に受けている	
	A2	・発話はほぼ理解可能である ・ストレス、イントネーション、個々の発音に第１言語（日本語など）の影響を強く受けている ・発音の間違いがコミュニケーションを妨げる時がある。	
文法の使用範囲と正確さ	B2	・テストで求められる言語機能の範囲に対応する十分な文法構造を使うことができる ・文法の間違いはごくわずかである	
	B1	・基本的な文法構造をほぼ正確に使うことができる ・複雑な文法形式を使用しようとする際に間違いがある	
	A2	・ある程度の基本的な文法構造や暗記した表現は正確に使うことができる ・体系的な間違いがある	
語彙の使用範囲と正確さ	B2	・テストで扱われる幅広い話題に対処できる十分な範囲の語彙を使える ・コミュニケーションを妨げない範囲で語彙の選択が不適切な時がある	
	B1	・日常的な話題に関して十分な語彙を使える ・不適切な単語の選択によってコミュニケーションが妨げられる時がある	
	A2	・語彙が日常のやり取りに使われるものに限られる ・語彙の不適切な選択や語彙不足によりコミュニケーションが頻繁に妨げられる	